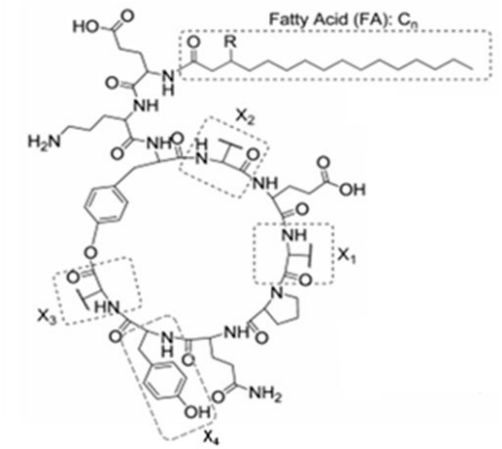
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成30年11月8日(2018.11.8)

【公表番号】特表2018-503626(P2018-503626A)
【公表日】平成30年2月8日(2018.2.8)
【年通号数】公開・登録公報2018-005
【出願番号】特願2017-534810(P2017-534810)
【国際特許分類】
Ａ０１Ｎ　63/02　(2006.01)
Ａ０１Ｎ　63/00　(2006.01)
Ａ０１Ｎ　43/90　(2006.01)
Ａ０１Ｐ　21/00　(2006.01)
Ａ０１Ｐ　3/00　(2006.01)
Ｃ１２Ｎ　1/20　(2006.01)
Ａ０１Ｈ　5/10　(2018.01)
Ａ０１Ｇ　7/00　(2006.01)
Ａ０１Ｃ　1/06　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ０１Ｎ　63/02　Ｅ
Ａ０１Ｎ　63/00　Ｆ
Ａ０１Ｎ　43/90　１０６
Ａ０１Ｐ　21/00
Ａ０１Ｐ　3/00
Ｃ１２Ｎ　1/20　ＺＮＡＥ
Ａ０１Ｈ　5/10
Ａ０１Ｇ　7/00　６０５Ｚ
Ａ０１Ｃ　1/06　Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成30年9月25日(2018.9.25)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
植物の成長に利益を与えるのに適した量で存在する、ＡＴＣＣ番号ＰＴＡ－１２１７２２として寄託されたバチルス・リケニフォルミス　ＲＴＩ１８４またはその全ての同定特徴を有するその突然変異体の生物学的に純粋な培養物を含む、植物の成長に利益を与えるための組成物。
【請求項２】
前記組成物は、液体の形態であり、前記バチルス・リケニフォルミス　ＲＴＩ１８４は、約１．０×１０^{9}ＣＦＵ／ｍＬから約１．０×１０^{12}ＣＦＵ／ｍＬの濃度で存在する、
ことを特徴とする請求項１に記載の組成物。
【請求項３】
前記組成物は、粉剤、乾燥水和性粉末剤、展延性顆粒剤または乾燥水和性顆粒剤の形態であり、前記バチルス・リケニフォルミス　ＲＴＩ１８４は、約１．０×１０^{9}ＣＦＵ／

ｇから約１．０×１０^{12}ＣＦＵ／ｇの量で存在する、
ことを特徴とする請求項１に記載の組成物。
【請求項４】
前記組成物が油分散体の形態であり、前記バチルス・リケニフォルミス　ＲＴＩ１８４は、約１．０×１０^{9}ＣＦＵ／ｍＬから約１．０×１０^{12}ＣＦＵ／ｍＬの濃度で存在する、
ことを特徴とする請求項１に記載の組成物。
【請求項５】
前記バチルス・リケニフォルミス　ＲＴＩ１８４は、胞子の形態である、
ことを特徴とする請求項１に記載の組成物。
【請求項６】
植物の成長に利益を与えるのに適した量で存在する、ＡＴＣＣ番号ＰＴＡ－１２１７２２として寄託されたバチルス・リケニフォルミス　ＲＴＩ１８４またはその全ての同定特徴を有するその突然変異体の生物学的に純粋な培養物の胞子を含む組成物で被覆された植物種子。
【請求項７】
植物の成長に利益を与えるのに適した量で、ＡＴＣＣ番号ＰＴＡ－１２１７２２として寄託されたバチルス・リケニフォルミス　ＲＴＩ１８４またはその全ての同定特徴を有するその突然変異体の生物学的に純粋な培養物を含む組成物を、植物の種子、植物の根、植物の切断片、植物の移植片、植物のカルス組織、植物を囲む土壌もしくは増殖培地、土壌もしくは増殖培地中に植物の種子を播種する前の土壌もしくは増殖培地、または土壌もしくは増殖培地中に植物、植物の切断片、植物の移植片もしくは植物のカルス組織を植える前の土壌または増殖培地に送達することを含む、植物の成長に利益を与える方法。
【請求項８】
前記バチルス・リケニフォルミス　ＲＴＩ１８４は、約１．０×１０^{8}ＣＦＵ／ｈａから約１．０×１０^{13}ＣＦＵ／ｈａの割合で送達される、
ことを特徴とする請求項７に記載の方法。
【請求項９】
前記バチルス・リケニフォルミス　ＲＴＩ１８４は、胞子の形態である、
ことを特徴とする請求項７に記載の方法。
【請求項１０】
前記植物は、アスパラガス、ベリー、ブルーベリー、ブラックベリー、ラズベリー、ローガンベリー、ハックルベリー、クランベリー、グーズベリー、エルダーベリー、スグリ、キャンベリー、ブッシュベリー、アブラナ科野菜、ブロッコリー、キャベツ、カリフラワー、芽キャベツ、コラード、ケール、マスタードグリーン、コールラビ、ウリ科野菜、キュウリ、カンタループ、メロン、マスクメロン、スカッシュ、スイカ、カボチャ、ナス、球根野菜、玉ネギ、ニンニク、エシャロット、シトラス、オレンジ、グレープフルーツ、レモン、タンジェリン、タンジェロ、ブンタン、結実野菜、ピーマン、トマト、グラウンドチェリー、トマティロ、オクラ、ブドウ、ハーブ／スパイス、葉野菜、レタス、セロリ、ホウレン草、パセリ、ラディッキオ、マメ科植物／野菜（多肉の乾燥した豆（bean）及び鞘に入った豆（pea））、豆 、サヤインゲン、スナップ豆、シェルビーンズ、大豆、ドライビーンズ、ガルバンゾー豆、リマ豆、エンドウ豆、ヒヨコ豆、スプリットピー、レンズ豆、油糧種子作物、キャノーラ、キャスター、ココナッツ、綿、亜麻、パーム油、オリーブ、ピーナッツ、菜種、ベニバナ、ゴマ、ヒマワリ、大豆、仁果、リンゴ、野生リンゴ、梨、マルメロ、サンザシ（Mayhaw）、根／塊茎及び球茎野菜、ニンジン、ジャガイモ、サツマイモ、キャッサバ、ビーツ、ショウガ、西洋ワサビ、ダイコン、人参、カブ、ストーンフルーツ、アプリコット、チェリー、ネクタリン、桃、プラム、プルーン、イチゴ、ツリーナッツ、アーモンド、ピスタチオ、ペカン、クルミ、ヘーゼルナッツ、栗、カシュー、ブナ、バターナット、マカダミア、キウイ、バナナ、（ブルー）リュウゼツラン、芝生、芝草、観賞植物、ポインセチア、アジサイ、広葉樹の挿し木、栗、オーク、メープ

ル、サトウキビまたはサトウダイコンを含む、
ことを特徴とする請求項７に記載の方法。
【請求項１１】
少なくとも１つの単離されたフェンギシンＭＢ－Ｃｉｔ化合物と、単離されたデヒドロキシフェンギシンＭＢ－Ｃｉｔ化合物と、を、植物への成長の利益または感受性植物における病原体感染に対する保護の一方または両方を与えるのに適した量で含み、
フェンギシンＭＢ－ＣｉｔおよびデヒドロキシフェンギシンＭＢ－Ｃｉｔ化合物は、式
【化１】



を有し、
フェンギシンＭＢ－Ｃｉｔについては、ｎは８～２０、ＦＡは直鎖、イソまたはアンテイソであり、ＲはＯＨであり、X_1はＶａｌであり、X_2はＴｈｒであり、X_3はＭｅｔであり、X_4はＣｉｔであり、デヒドロキシフェンギシンＭＢ－Ｃｉｔについては、ｎは８～２０、ＦＡは直鎖、イソまたはアンテイソであり、ＲはＨであり、X_1はＶａｌであり、X_2はＴｈｒであり、X_3はＭｅｔであり、X_4はシトルリンである、
ことを特徴とする組成物。
【請求項１２】
フェンギシンＭＢ－Ｃｉｔ化合物およびデヒドロキシフェンギシンＭＢ－Ｃｉｔ化合物の少なくとも１つを含む、バチルス・リケニフォルミス株の生物学的に純粋な培養物の抽出物。
【請求項１３】
前記バチルス・リケニフォルミス株は、ＡＴＣＣ番号ＰＴＡ－１２１７２２として寄託されたバチルス・リケニフォルミス　ＲＴＩ１８４である、
ことを特徴とする請求項１２に記載の抽出物。
【請求項１４】
病原体感染から植物または果実を保護するまたは処理するための方法であって、前記植物もしくは前記果実に、または前記植物の根もしくは根の周囲の土壌に、有効量の請求項１１、１２または１３に記載の組成物または抽出物を適用することを含む、方法。
【請求項１５】
前記植物は、アスパラガス、ベリー、ブルーベリー、ブラックベリー、ラズベリー、ローガンベリー、ハックルベリー、クランベリー、グーズベリー、エルダーベリー、スグリ、キャンベリー、ブッシュベリー、アブラナ科野菜、ブロッコリー、キャベツ、カリフラワー、芽キャベツ、コラード、ケール、マスタードグリーン、コールラビ、ウリ科野菜、キュウリ、カンタループ、メロン、マスクメロン、スカッシュ、スイカ、カボチャ、ナス、球根野菜、玉ネギ、ニンニク、エシャロット、シトラス、オレンジ、グレープフルーツ、レモン、タンジェリン、タンジェロ、ブンタン、結実野菜、ピーマン、トマト、グラウンドチェリー、トマティロ、オクラ、ブドウ、ハーブ／スパイス、葉野菜、レタス、セロリ、ホウレン草、パセリ、ラディッキオ、マメ科植物／野菜（多肉の乾燥した豆（bean）及び鞘に入った豆（pea））、豆 、サヤインゲン、スナップ豆、シェルビーンズ、大豆、

ドライビーンズ、ガルバンゾー豆、リマ豆、エンドウ豆、ヒヨコ豆、スプリットピー、レンズ豆、油糧種子作物、キャノーラ、キャスター、ココナッツ、綿、亜麻、パーム油、オリーブ、ピーナッツ、菜種、ベニバナ、ゴマ、ヒマワリ、大豆、仁果、リンゴ、野生リンゴ、梨、マルメロ、サンザシ（Mayhaw）、根／塊茎及び球茎野菜、ニンジン、ジャガイモ、サツマイモ、キャッサバ、ビーツ、ショウガ、西洋ワサビ、ダイコン、人参、カブ、ストーンフルーツ、アプリコット、チェリー、ネクタリン、桃、プラム、プルーン、イチゴ、ツリーナッツ、アーモンド、ピスタチオ、ペカン、クルミ、ヘーゼルナッツ、栗、カシュー、ブナ、バターナット、マカダミア、キウイ、バナナ、（ブルー）リュウゼツラン、芝生、芝草、観賞植物、ポインセチア、アジサイ、広葉樹の挿し木、栗、オーク、メープル、サトウキビまたはサトウダイコンを含む、

ことを特徴とする請求項１４に記載の方法。